

# 10・11月武装中央権力斗争—マッセンストで階級斗争の 新たな段階—本格的権力斗争の時代を切り拓け!

10・7 共産同大政治集會に総集せよ!

## 共産主義者同盟

首都圏の戦闘的青年労働者諸君、革命的學生諸君。

安保決戦の時が、来た。

10・8以来、「組織された暴力」をもって切り拓いて来た安保闘争の全成果が、今、安保決戦—佐藤訪米阻止の一点に集中されなければならない。

日本帝国主義は、安保決戦をのり切り、「沖繩解決」を軸にした日米反革命同盟再編強化をなしとげるために、戦後未曾有の反革命体制を確立しつつある。

全警察の機動隊化、飛躍的に強化された武装、スパイ情報活動の大拡充、それに、自衛隊の治安特訓等々。

社会党・総評は、訪米当日の羽田動員すら「止らない」と宣言し、「中央集會」に切り替えた。

共産党は、訪米には反対しない、旨、声明する始末(9/5、赤旗)。

自民党に12月解散説をチラつかされて、すっかり浮足だった彼ら社共にとっては、所詮訪米阻止よりも、「選挙運動」というところなのであろう。

青年労働者諸君、學生諸君。

安保決戦勝利の展望は、一切、われわれの全力量・全能力にのみ、にわたっている。実際10・8以来の安保闘争が、うら切りの社共をのりこえ、それどころか、彼らの「反革命」を容赦なく粉碎することを通して前進してきたものであることを想起するならば、このことは自明であらう。

安保決戦—佐藤訪米阻止とは、訪米阻止の羽田動員ではなく、訪米不可能の政府危機、政治危機の創出として、前段的主体的に、その戦略戦術が、設定されなければならない。それは、より具体的には、10・21武装中央権力闘争、マッセンストの貫徹をもっての本格的武装斗争の開始—進撃である。ブルジョアジーは、大学立法の強行採決をもって、すでに、安保決戦への攻撃を先行的、且つ、全面的に開始した。

連日のごとく、大学等に機動隊が突入し、連日、活動家逮捕がつづいている。

首都の10・21は、10・10首都10万人決起集會を足場にうちかためた全力量を、武装中央権力闘争として実現させ、一挙に、安保政府の力関係を転換させねばならない。

関西の青年労働者は、機動隊・当局の反革命をうちやぶって、大阪中電マッセンストをかちとり、日本資本主義の通信基幹部分をマヒさせて、中央の闘いに呼応するであらう。

武装した10・21は、機動隊を敗走・壊滅の危機にたみこみ、怒濤の武装進撃の地平を切り拓かねばならない。弾圧体制のマヒ解体を通して切り拓かれた新たな地平に、我々はマッセンストを全面的飛躍的に発展させ、更により強大な中央権力闘争を創り出さねばならない。そして、我々は、安保決戦勝利と勝利を通しての階級決戦への進撃を基軸に、「NATO、安保粉砕、ベトナム革命勝利、ワルシャワ条約解体」の国際反帝闘争を、世界プロレタリア独裁樹立にむけて、大きくけん引しぬくのた。「10・7共産同大政治集會」は、安保決戦なかんずく10・21の位置を解明し、安保粉砕・日帝打倒・世界革命戦争への道を明らかにする。

革命的指針なくして革命の実践なし!

首都圏の全戦闘的青年學生諸君、10・7集會に結集せよ!

## 10・7 共産同大政治集會

両国会会堂 (国電・両国下車五分)

5時半開場・6時閉會

基調報告・共産同、連帯表明・各団体